

目黒助教が総会学会賞

日本泌尿器科学会 滝浪、桐花病院助手は総会賞

福島医大

4月に京都府で開かれた日本泌尿器科学会総会で、福島医大医学部泌尿器科学講座の目黒了助教が総会学会賞（基礎的研究部門）、

滝浪瑠璃子病院助手と桐花悠介病院助手が総会賞をそれぞれ受けた。8日、医大が発表した。

目黒助教は、膀胱がん

細胞老化の関連に着目した基礎的研究に取り組み、がんの中の老化繊維芽細胞が悪化を助長していると突き止めた。研究内容は英国の

科学誌に掲載された。

滝浪病院助手は口腔内細菌が前立腺肥大症を引き起こす仕組みを解明するためマウスなどの実験動物を用いた基礎的研究を実施。特定の遺伝子の変化が影響していると発見した。

桐花病院助手は移動精巣に対する手術「精巣固定術」の県内の実施状況を地域別に解析し、診療体制などに地域差があると特定した。専門医の配置状況などが関与していると明らかにした。



目黒 了
助 教



滝浪 瑠璃子
病 院 助 手



桐花 悠介
病 院 助 手